



各店とも大盛況

フリーマーケットを開催

環境講座で始める・原西校区

一月二十日、原西校
区ごみ減量・リサイク
ル推進会議と原西公民
館は、共催でフリー
マーケットを初めて開
催しました。

会場の公民館ホール
には、衣類・食器・本・
おもちゃなどの日用品
を十二店が出店。冷た
い雨の一日でしたが、
店が十二店出た。

りあげましたよ。フリーマーケットは、
リサイクル運動の一つの意識付けにな
るので続けていきたい」と話していま
した。

校区の皆さんはショッピングを楽しみ
ました。喫茶コーナーも設けられ、焼
き餅入りぜんざいは、林勝朗館長(72)
のおすすめ。食器は洗って再利用し、ご
み減量を実践します。

出店者の橋園陽子さんは「子ども用
品を中心に揃えてみました。マーケッ
トは楽しいですよ」と完売が目標。

同会議の藤岡明仁会長(73)は「公民
館と一緒に環境講座を始めました。他
に、段ボールでたい肥を作る講座も取
り組んでいます。

りあげましたよ。フリーマーケットは、
リサイクル運動の一つの意識付けにな
るので続けていきたい」と話していま
した。

さわらエコナビ通信

第5号・発行
平成20年3月21日
早良区生活環境課
TEL:833-4341
協力
早良区ごみ減量・
リサイクル推進連絡会議

五人は、福岡市のごみ処理の取り組み
などを学ぶ研修生として来日されたも
ので、他に熊本市も訪問されます。
原校区ごみ減量・リサイクル推進会
議の板谷征功会長(68)が、古紙等を回
収する同リサイクルステーションの内容
を説明。「この施設は市内にいくつあ
りますか」また「粗大ごみは持ち込め
ますか」などの質問がありました。

十二月五日、ベトナム社会主義共和
国ハイフォン市職員の皆さん、原校
区紙リサイクルステーションを視察し

紙リサイクルステーション視察 原公民館

ハイフォン市職員訪問



リサイクルの説明を受ける研修生

入部校区ごみ減量・リサイクル推進
会議(平井紘一会長(65))は、十一月二十
八日、久留米市の筑後大堰と佐賀県小
城市製紙工場の施設見学を行いました。

筑後大堰の漂着物処理学ぶ 入部校区ごみ減量・リサイクル 推進会議

ハイフォン市にない施設として皆さ
ん、興味を持たれた様子でした。
※ハイフォン市　ベトナム北部ソン
コイ川河口の港湾都市。首都ハノイ市
から南へ約百キロ。人口百七十万人。
ハイフォン市はない施設として皆さ
ん、興味を持たれた様子でした。



水草やペットボトルなどの河川ごみ

河川ごみに環境保護思う

積施設が設けられています。ウォーターレタスと呼ばれる水草やペットボトルなどが漂着しており、水面は水草で緑色に覆われていました。

宮崎浩自治協議会長(66)は「河川ごみを間近に見て、改めて環境保護の大切さを感じました。ごみ減量など身近なところから環境保護を実践していきたい」と話していました。

平井会長は「施設見学を通して校区に環境意識が広がるよう、広報紙で紹介したい」と話していました。この後、製紙工場を見学。皆さんにとって、環境保護を肌で感じる一日となりました。

第四日曜日は資源回収 室住団地で一斉リサイクル 有住校区



寒さに負けずリサイクル

二月二十四日、室住団地は一斉に地域集團回収を行いました。同団地では、毎月第四日曜日を資源回収日と定め、町内会・子ども会など団体毎に収集しています。

小学五年生の渡拓未君は「自分達もこれからも続けたい」と話していました。